

# 連合自治会ニュース



連合自治会長 山内 満

「ゾーン30」を導入

橋北地区は市のモデルとして、地域に優しい街づくりに「ゾーン30」の導入を決めました。

従来の生活道路やスクールゾーンと言われるところには、直線的にスピード制限や路面表示などで対応してきましたが、最近の「橋北通り」は朝夕通勤時間帯の渋滞から、生活道路やスクールゾーンに車が入り込み通過する事により住民や児童の通学路が脅かされています。そんな危険な状態を避ける為、他地区に先駆けて橋北地区では「ゾーン30」を導入し規制をかける事にしました。幸い現在、橋北小学校周辺道路（対象は川原町1～3自治会）内は全て30km規制になっており、これらを一つのゾーンとして周囲幹線道路から入り口に「ゾーン30」の表示や対策を講じます。

また、ゾーン内は路面表示、カラー舗装、歩道確保、道路標示、道路形状、路面凸凹など様々な対策がありますが、これからは今後の取り組みとして、当該地域住民の皆様と充分話し合っていきます。市のモデル地域として、橋北地区の活性化の為、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



## 自治会活動の紹介

平成13年に陶栄町南、北が統一され現在の陶栄町が誕生しました。

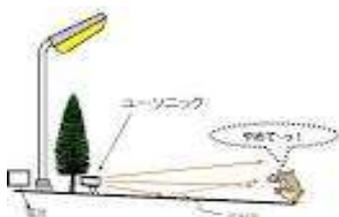
平成25年9月現在世帯数214戸、内自治会加入182戸加入率85%、住民の平均年齢は41.2歳、70歳以上の高齢者88人です、他の自治会よりは当自治会内にマンションの建設により、比較的若い夫婦が増え、又子ども数も増加しています。

昨年は住環境の変化による防犯外灯の見直しを実施「消費～節約」の先陣をきり当自治会内の外灯52灯から43灯に減らし、しかも全灯LED電球に換えたところ電気代（60%）節約を果たしました。

また町を挙げて住民から出す再生資源ごみをリサイクルの有料化で町財政に大きく寄与することが出来ました。

自治会の夢 1. ゴミ集積場建設・整備 2. 集会場建設など

陶栄町自治会会長 清水 保夫



橋北地区連合自治会	文化・広報部
発行責任者	山内 満
編集責任者	山本 勇三